技術支援

林業技術センターでは、技術相談にお応えするとともに、次のような有料の技術支援メニューがあります。

① 技術的課題解決支援事業（ギカジ）
技術的課題の解決支援依頼に対して、その解決に向けて検討することを請け負うとともに、技術指導と併せて検討結果等を記載した技術支援レポートを交付します。

② 現地指導　研究員が現地に行き、技術指導を行います。

③ 受託研究　企業・団体等からの受託により研究開発・試験を行います。

④ 依頼試験　設備・機器を使った試験を研究員が実施します（項目ごとの手数料金表あり）。

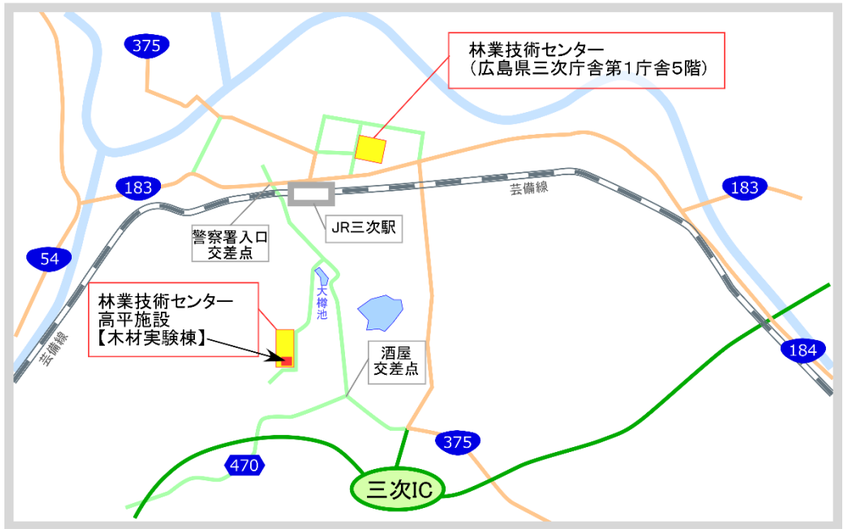
⑤ 設備利用　木材実験棟の設備・機器の利用を受け付けます（項目ごとの使用料金表あり）。

技術支援に関するお問い合わせは、お気軽に技術支援部にご連絡ください。

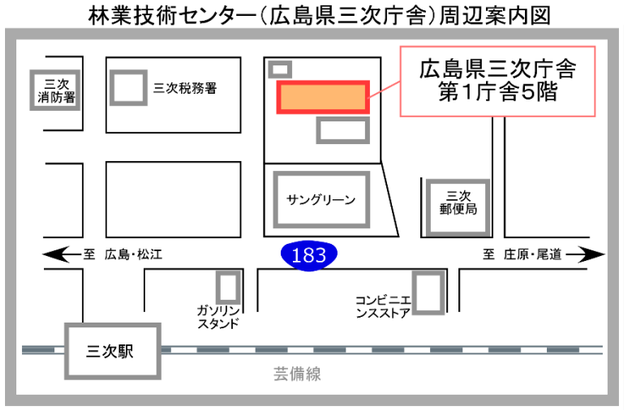
専用直通電話：0824-63-0897　Ｅメール：rgcgijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

アクセス

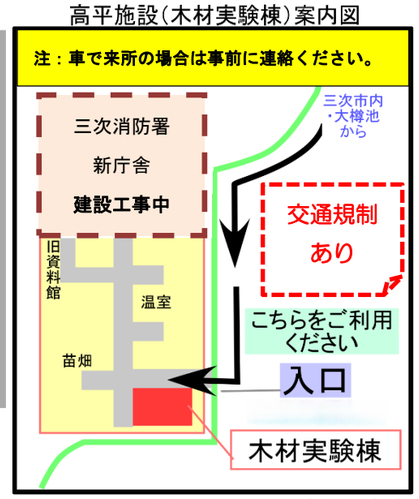
三次市広域案内図（林業技術センター，高平施設）



林業技術センター（広島県三次庁舎）周辺案内図



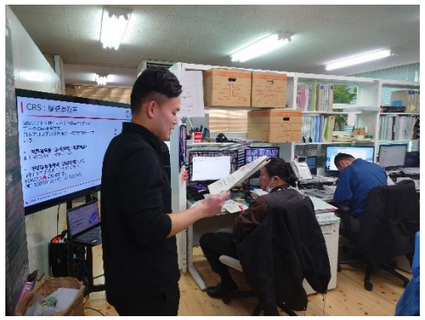
高平施設（木材実験棟）案内図

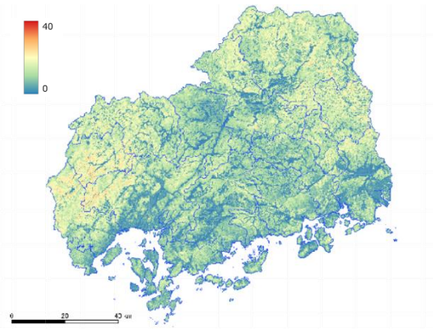


-林業技術センター
〒728-0013　三次市十日市東４丁目６－１
電話　（0824）63-5181（代表）
（0824）63-0897（技術相談専用）
FAX　（0824）63-7103

All Copyrights Reserved、広島県立総合技術研究所、2025

令和７（2025）年度
林業技術センター要覧





広島県立総合技術研究所
Hiroshima Prefectural Technology Research Institute

林業技術センター
Forestry Research Center

ホームページ URL：http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/33/

【表紙の写真の説明】

上段左：木材実験棟　上段右：ヒノキ球果のカメムシ袋掛け防除（庄原市）

下段左：森林管理基盤情報利用森林組合向け QGIS 研修風景　下段右：樹高図（森林管理基盤情報）

All Copyrights Reserved、広島県立総合技術研究所、2025

業務の基本方針

林業技術センターでは、「総合技術研究所中期事業計画（第２期）」（令和３～７年度）に基づき、県内の中小企業や農林水産業者（以下「事業者等」という。）のニーズに基づく支援を継続するとともに、デジタル技術などの進展に対応するため、次の事項に重点的に取り組みます。

（1） 顧客とのコミュニケーション強化

○ 事業者訪問や技術相談をもとに、顧客が抱える本質的な課題（潜在的なニーズを含む）を正確に把握して、その課題を解決に導くためのグランドデザイン活動を定着化します。

（2） 顧客起点での課題解決に向けた迅速かつ満足度の高い支援の充実

○ センター基幹技術と共に、センター間及び外部機関との共創活動に取り組むことで、課題解決の確度や満足度を向上させます。

○ 事業局との緊密な連携強化（情報収集・情報発信）を図り、事業局の施策実現に貢献します。

（3） 課題解決を支える技術基盤等の強化

○ 専門技術の進化とともに、デジタル技術の獲得・強化に努め、これらを有効に組み合わせることで、課題解決を支える技術基盤の強化・定着を図ります。

また、農林水産局の「２０２５広島県農林水産業アクションプログラム」の取組と連携し、施策実現に必要な技術開発の提案や県内の林業・林産業界の抱える課題の解決に向け技術支援を強化します。

組織と業務内容

センター長	次　長	総 務 担 当	センターの庶務・施設管理に関する事務を行います。
	次　長 兼技術支援部長	技術支援部	技術相談窓口です。試験研究の企画調整を行なうともに技術移転を推進します。育種事業の行政支援も行います。
		林業研究部	森林・林業、木材に関する試験研究と技術移転および木質材料の性能に関する評価・分析を行います。

知的財産

特許名称	内　容
採材支援装置および制御プログラム（特許第 6317052 号）	立木の幹の形状を示す情報を用いて適切な採材位置を計算し、丸太の曲がり区分ごとの材積や金額を算出できます

公開情報	内　容
森林管理基盤情報	航空レーザー測量成果（国土交通省中国地方整備局（2009）、広島県砂防課（2014～2017）、林野庁治山課（2018））を用いて作成した「標高図」、「CS 立体図」、「傾斜図」、「樹高図」、「レーザー点群密度図」、「計測年度図」の６図を森林管理基盤情報として公開しています。

All Copyrights Reserved、広島県立総合技術研究所 2025

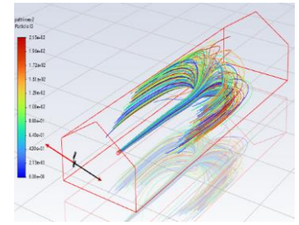
令和７（2025）年度林業技術センター要覧

主な試験研究の内容

【課題解決研究】

「一次産業施設(ハウス)へのモデルベース開発(MBD)を活用した生産性向上を支援する施設内環境制御技術の開発」（令和５～７年度）

ハウス内の空気の流れを数値計算により予測する技術を活用することで、気流制御を利用した少花粉ヒノキの受粉向上及び交配作業の軽減化を図り、種子の安定供給を実現する環境制御技術の開発に取り組みます。



気流シミュレーションの一例

【基盤研究　所長枠】

「画像処理技術を用いた立木本数計測プログラムの開発」（令和７～８年度）

人工林の立木価値を評価するためには正確な材積推定が必要となります。この材積推定の基礎となる立木本数の計測をドローン等の空撮写真を用いて効率的に行う上で欠かせない立木本数計測技術の精度を向上させる為の技術開発に取り組みます。

【基盤研究　行政支援枠】

「次世代品種の遺伝的能力を発揮できる種苗生産手法の確立」（令和７～８年度）

スギ、ヒノキ花粉症対策品種苗の安定的な供給が喫緊の課題となっていますが、種子では花粉抑制能力にバラツキが生じるため、少花粉品種のクローンを安定的に生産するために挿し木技術の改良に取り組みます。

「1500 本/ha 以下の低密度植栽による樹木の強度性能評価に関する研究」（令和７年度）

再造林時の初期費用を抑える方法として植栽本数を減らす取り組みが始まろうとしています。この一方で低密度植栽木の材質にはまだ不明な点もあるため、国有林と協力して 1500 本/ha 以下の低密度植栽による樹木の強度性能評価を行います。

【基盤研究センター長枠・受託研究】

センター長枠では主に試験地の継続した調査や基礎的な試験などを実施しています。

受託研究（共同研究を含む）では、CLT（直交集成板）の強度試験や性能評価、コンテナ苗の生産技術の改良に向けた育苗試験などを予定しています。

コウヨウザン試験地

行政支援業務

【苗木生産体制整備事業】

○ スギ・ヒノキの少花粉品種や特定母樹などの優良種子の生産と普及を図ります。
（採種園整備・管理、種子採種等）

○ 松くい虫に抵抗性のあるマツ（広島スーパーマツ）種子を計画的に生産・普及します。
（採種園管理・種子採種・接種検定等）

少花粉スギの球果採取

抵抗性確認のための接種検定

All Copyrights Reserved、広島県立総合技術研究所 2025